



ファイブスター投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 2266 号
一般社団法人投資信託協会 加入
一般社団法人日本投資顧問業協会 加入

2024 年 10 月 9 日

受益者様ご各位

ファイブスター投信投資顧問株式会社

「ディープリサーチ・チャイナ・ファンド（愛称：翡翠探訪）」の基準価額下落について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本日「ディープリサーチ・チャイナ・ファンド（愛称：翡翠探訪）」の基準価額が、2024 年 10 月 8 日の基準価額に比べ 7.12% 下落いたしました。この下落の要因と今後の展望に関しましてご報告いたします。

敬具

記

(1) ファンドの基準価額と騰落率

ファンド名	10月8日 基準価額	10月9日 基準価額	前営業日比 騰落幅	前営業日比 騰落率
ディープリサーチ・チャイナ・ ファンド(愛称:翡翠探訪)	11,548 円	10,726 円	▲822 円	▲7.12%

(2) 基準価額の下落について

2024 年 10 月 9 日にディープリサーチ・チャイナ・ファンドの基準価額が 7.12% 下落致しました。この下落は同ファンドが主たる投資対象としているバリュース・パートナーズ・クラシック・エクイティ・ファンド（米ドル建て）の基準価額が 2024 年 10 月 8 日に前営業日比 7.63% 下落した事が主因です。

このバリュース・パートナーズ・クラシック・エクイティ・ファンド（米ドル建て）の基準価額下落に関しては、同ファンドが運用参照指数とする MSCI ゴールデン・ドラゴン・ネット・トー



タル・リターン指数(米ドル建て)が 2024 年 10 月 8 日に前営業日比で 5.38%下落した事に呼応します。

また、同ファンドは香港株への投資割合が大きく、その香港ハンセン株価指数が 2024 年 10 月 8 日に前営業日比 9.41%下落した事に大きく影響を受けています。この香港株の下落要因の一つは、国慶節(建国記念日)連休明けとなる 8 日に経済政策全般の立案を担う国家発展改革委員会が開いた記者会見において追加の大型刺激策の発表が無かったことが嫌気され、新たな株高となる刺激策が発表されるとの期待感が事前に大きかったこともあり投資家の失望売りにつながったことが考えられます。また、中国政府は 9 月後半に相次いで大規模な景気刺激策を打ち出し、それらを好感して香港ハンセン指数は 9 月 11 日終値 17,051.84 から 10 月 7 日終値 22,948.35 まで、34.58%の急騰を演じていた反動も大きかったものと思われます。

(3) 今後の展望について

中国政府は、9 月後半に相次いで発表した景気刺激策において、中国人民銀行など主要金融当局が政策金利、預金準備率、既存住宅ローン金利引き下げと、株式や不動産市場への流動性供給の支援策を打ち出し、また、中国政府による大手銀行への資本注入報道や、上海市が消費クーポンの配布を発表、共産党中央政治局会議では不動産市場の安定化に言及し、中国主要 3 都市(上海・広州・深セン)では住宅購入に対する規制緩和など、数多く発表しました。8 日に行われた国家発展改革委員会が開いた記者会見では新たな支援策の発表が無く市場の失望を誘いましたが、8 日午後には中国の李強首相が経済情勢専門家との座談会で政策実施加速を強調するなど、中国当局による景気支援・株高政策への取り組み姿勢は強いことが窺えます。当面の中国株式市場では、中国財政省が 12 日に財政政策に関する説明会を開催すると 9 日に発表しており、市場が期待する規模となるかどうか注目されます。

以上

1. 本レポートで使用した株式指数の騰落率等の数値は、Bloomberg 等のデータに基づき、ファイブスター投信投資顧問が作成したものです。
2. 本資料はファイブスター投信投資顧問が情報提供を目的として作成した資料であり、法令に基づく開示書類では有りません。本レポートに記載の内容は、将来の運用成果や内容を保証あるいは示唆するものではありません。
3. 本レポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、ファイブスター投信投資顧問はその完全性・正確性に関する責任を負いません。

【投資信託に係るリスク・費用について】

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、投資元金が保証されているものではなく、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、投資者（受益者）の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。投資信託の運用による損益は、すべてお客さまに帰属しますので内容・リスクを十分にご理解の上、お申してください。詳しくは、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご覧ください。

●投資信託に係る費用について

（ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。）

- ◆ お客さまが直接的にご負担いただく費用

【ご購入時の費用】 **上限 3.30%(税込)**

【ご換金時の費用】 信託財産留保額 **上限 0.30%**

- ◆ お客さまが信託財産で間接的にご負担いただく費用

【運用管理費用(信託報酬)】 **上限 年率 2.629%(税込)**

※ 上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

【その他の費用・手数料】 上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、ファイブスター投信投資顧問株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なります。ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。なお、個別商品の詳細については投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください。

【その他の留意事項】

- 本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した情報提供を目的とする資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。お申込の際は、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご確認のうえ、お客さまご自身でご判断ください。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。
- 投資信託は、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 本資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証あるいは示唆するものではありません。また、原則として表示桁数未満を四捨五入しています。記載内容は作成時点のもので、予告なく変更する場合があります。
- 本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。

【委託会社の照会先】

ファイブスター投信投資顧問株式会社

金融商品取引業 関東財務局(金商) 第 2266 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

お客様デスク 03-3553-8711 受付時間：午前 9 時～午後 5 時まで（土・日・祝日・12 月 31 日～1 月 3 日を除く）

ホームページアドレス <https://www.fivestar-am.co.jp/>

投資信託の手数料等およびリスクについて

当社取扱いの投資信託のお申込み、一部の投資信託のご換金にあたっては、お申込み金額に対して最大3.3%（税込み）の申込手数料または換金手数料をいただきます。また、換金時に直接ご負担いただく費用として、信託財産留保額をご負担いただくことがあります。投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用として、信託財産の純資産総額に対する信託報酬のほか、運用成績に応じた成功報酬、運用会社報酬等の名目でご負担をいただくことがあります。また、その他の費用を間接的にご負担いただくこともあります。

投資信託は、主に国内外の株式をはじめとした値動きのある証券を投資対象とするため、当該資産の市場における取引価額の変動や為替の変動等により基準価額が変動します。従って損失を生じるおそれがあります。

なお、投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては目論見書等をよくお読みください。

 おきなわフィナンシャルグループ

 おきぎん証券

おきぎん証券株式会社

金融商品取引業者

沖縄総合事務局長（金商）第1号

加入協会 日本証券業協会